埼玉住み心地の 第18回 良いまち大賞

審査委員長講評

埼玉住み心地の良いまち大賞は今年で18回目を迎えることができました。今回は、前回の約1.2倍となる1,822点の「まち」への思いがこもった作品が集まりました。作者はもちろん、作品を私たちに届けてくださる小中学校の先生や親御様、そして協賛企業の皆様のご協力の賜物です。お礼申し上げます。

さて、埼玉県知事賞に選ばれた作品は、須藤歌織さん（中学2年生）の「本と本 人と人が出会う知の広場」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、篠原那穂さん（中学2年生）の「日高探索スゴロク」、協議会会長賞に、小林建貴さん（小学5年生）の「うどんもあついぞ熊谷市」と、西村優空さん（中学3年生）の「シン・トコロザワ 大図鑑」の2点、そして審査委員長賞には、久慈えみるさん（小学6年生）の「時代を超える名建築」と、小池朔久さん（中学2年生）の「加須大好き ～水と緑と文化の調和したまち～」の2点が選ばれました。加えて、優秀賞と協賛企業賞がそれぞれ30点ずつ選ばれました。

埼玉県知事賞に選ばれた須藤さんの作品は、「図書館」をテーマにさいたま市内の図書館の特徴をうまく説明しながら、それぞれの図書館の職員の方のコメントも記載することで、より図書館が身近になるような紹介になっているところが、素晴らしいと思いました。また、埼玉県教育委員会教育長賞に選ばれた篠原さんの作品も、日高の「まち」をスゴロクという形で遊び心を入れながら紹介しつつ、自分の視点で名所の面白さや自分が感じたことを素直に表現している良い作品だと思いました。

今回も昨年に引き続き作品のクオリティが全体的にとても高く、残念ながら入選から外れてしまったものの中にも、着眼点がとてもユニークであったり、表現方法がとても工夫されていたりなど、優れた作品がたくさんありました。作者が作品の制作を通じてまちの新しい魅力を見つけたことは十二分に伝わってきましたし、作品を審査する我々にも新たな発見や気づきを与えてくれる作品ばかりでした。皆様もこの機会に、自分の住んでいるあるいは自分に縁のある「まち」を今一度調べてみてはいかがでしょうか。

最後にあらためて本賞に関わる皆様全員にお礼を申し上げるとともに、これからも埼玉県住まいづくり協議会の活動へご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

審査委員長
埼玉新聞社代表取締役社長　関根 正昌

後援　埼玉県　埼玉県教育委員会

協賛　本賞の趣旨に賛同する埼玉県住まいづくり協議会の会員企業等に協賛いただいています

AQ Group　OKUTA　近藤建設株式会社　埼玉県住宅供給公社　一般財団法人 さいたま住宅検査センター
(一社)埼玉県電業協会　住協/住協建設　昭栄建設グループ　TOKYO GAS
株式会社 藤島建設　POLUS 株式会社中央住宅　POLUS ㈱中央ビル管理　POLUS ㈱ポラスのリフォーム　POLUS 第一エネルギー設備㈱　POLUS ポラス株式会社　YKK ap

令和6年 2月発行

埼玉住み心地の

第19回

良いまち大賞

作品募集

歴史のあるまち、自然が残るまち、安全なまち
あなたの目線で、「あなたの良いまち」を紹介してください。

応募案内　2024年5月以降

連絡先：埼玉県住まいづくり協議会事務局　TEL 048-830-0033

良いまち大賞　検索